

国際ロータリー第2500地区第6分區

帯広東ロータリークラブ会報



2014-2015年度
帯広東ロータリークラブ
会長 西田重人
幹事 深澤佳世子
メディア委員長 加藤雄樹

「和気藹々」

第1447回例会

平成26年10月28日(火) 於 アパホテル帯広駅前

■創立: 1984年6月15日 ■認証: 1984年6月18日 ■例会: 毎週火曜日 12:30~13:30
■事務局: 帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場: アパホテル帯広駅前



2014-2015年度
国際ロータリーテーマ
【ロータリーに輝きを】

2014-2015年度国際ロータリー会長
ゲイリーC.K.ホアン

ガバナーテーマ
【誠心誠意】

国際ロータリー第2500地区 ガバナー
奥 周 盛

- ◎起立 古川副 S A A
- ◎友情の握手 古川副 S A A
- ◎点鐘 西田会長
- ◎開会宣言 古川副 S A A
- ◎ロータリーソング
- 手に手つないで 古川副 S A A



ロータリー財団表彰

大塚委員長

- ・マルチプルポールハリス 7th 大塚会員
- ・マルチプルポールハリス 3th 鎌田会員



ゲスト紹介

西田会長

米山記念奨学生 李 勝妍(イ スンヨン)様

◎会食

会長挨拶

西田会長

先日の夜間例会、和気藹々の気持ちで3次会まで盛り上がりました。

池波正太郎氏の昭和59年度発行の「男の作法」を20代の頃より読んでいれば、僕の人生ももっと違う展開になっていたのかもしれない。友人であれ恋人であれ、人と人の出会いというのは、己の生きざまに思いもかけない影を落としたり、やる気をもたせるものであります。「男の作法」の中で寿司屋に行ったときにはこんな挨拶で、蕎麦を食べる時はこう



会務報告

深澤幹事

- ①本日例会終了後、定例理事会を開催致します。
- ②奥ガバナー、曾我大会実行委員長より地区大会のお礼の文書が届いています。
- ③11月のロータリーレートは、1ドル106円です



委員会報告

大塚国際奉仕・ロータリー財団委員長

第40回国際親善市民のタペワインパーティのご案内
日 時: 平成26年12月6日(土) 18時~
場 所: 十勝農協連5階 大会議室

ニコニコ献金

加藤武志委員

- **西田会長**：イ・スンヨンさん、地区大会のスピーチ良かったヨ。今日もヨロシク。
- **深澤幹事**：イ・スンヨンさん、今日のお話楽しみにしています。
- **高田会員**：本日、米山奨学生のイ・スンヨンさんの卓話です。宜しくお願いします。



プログラム

神田米山記念奨学会委員長

【米山奨学生卓話】

RI2500地区 米山記念奨学生

李 勝妍 (イ スンヨン) 様

帯広畜産大学6年の李 勝妍(イ スンヨン)です。本日は「自己紹介」と「なぜ日本に来たか」および「卒業論文の研究」についてお話させていただきます。私は韓国のソウル出身です。韓国人口は約5,000万人おり、その内1,000万人はソウルに住んでいます。教育熱心な



町で塾が多いことが特徴で、私も子供のころから色々な塾に通わせていただきました。両親と弟の4人家族で、お母さんは小学校の先生をしていましたが、健康上の理由で昨年退職しました。お父さんは警察官でしたがお母さんの退職を見て自分もやめたいと言いだし、現在は2人とも無職です。韓国では女の子の名前に

“妍”を使うのが多く、フィギュアスケートの「キム・ヨナ」選手も同じ字を使っています。私は食べ物の中で辛い物が好きですが、日本の激辛ラーメンは物足りないと感じます。現在、帯広畜産大学に通っていますが、大学のサークルでは「熱気球サークル」に所属しています。卒業後の進路は大学院には進学せず就職活動に専念したいと思

自己紹介

- **イ スンヨン (이승연 李昇妍)**
- **韓国・ソウル出身**
- **4人家族**
- **辛いものが好き!**
- **熱気球サークル**
- **タイマッサージ資格**
- **卒業後の進路はまだ悩命中**

っています。

なぜ、日本に来たかといいますが、小さい頃から幾つかかなりたい夢を持っている中に“獣医”になりたいという夢があり、獣医になるためには、大学に入り直しをしなくてはならず、韓国のセンター試験を受け直すのは嫌だったので、日本語の勉強をしていたのを活かし日本で獣医になろうと思い来日しました。なぜ、帯広畜産大学に来たかという、日本の国立大学の獣医学部で2次試験が無いところ選んだ結果、帯広に来ることになりました。



帯広畜産大学での卒業論文の研究内容は「日本住血吸虫」の研究をしています。日本住血吸虫は、日本では撲滅されていますが、フィリピンなどの東南アジアでは未だに大きな衛生問題になっています。日本住血吸虫は貝の中で寄生しており、水中で人間の皮膚から体内に侵入し産卵します。東南アジアにはトイレがないところが多く、感染した人間の便からまた水中で違う人に感染するサイクルが発生しています。日本住血吸虫に関する衛生教育と診断する場所を東南アジアで設置したが、有効に機能しないため、これをどうすれば有効に活用できるかということの研究をしています。

次週のプログラム

「ゲスト卓話」

RI2500地区リソースとサポート委員会
委員長 黒川吉一様(音更RC)

【グローバル補助金プロジェクトの奨め】